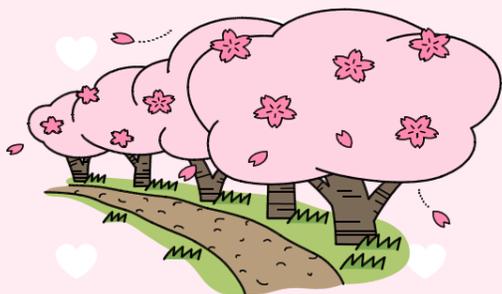


部門・部署紹介

岡の苑事務部



私たち岡の苑事務部は5名で担当しております。
 岡の苑の玄関からすぐに私たちが笑顔でお出迎えいたします。利用者さんやご家族に目配り、気配り、心配りができ、優しく迅速丁寧に対応することを心掛けています。
 介護保険のご相談や入所、通所リハビリ等のご利用の際はいつでもお気軽にお声がけ下さい。

岡の苑社会復帰支援部（リハビリ課）は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の複数のリハビリ専門職で構成され、入所・通所リハビリにおけるリハビリテーションに加え、訪問リハビリテーションも実施しています。

更に、竹田市の委託を受けて介護予防事業「元気はつらつ教室」を開催するなど、高齢化の進む竹田市において地域に密着したリハビリテーションの提供に努めています。

利用者さん個々の希望に応じて自立した楽しみのある生活支援ができるように、サービスの充実を図ることを目標にしています。

岡の苑社会復帰支援部 リハビリ課



医療法人 雄仁会

〒878-0013
 大分県竹田市竹田1855番地
 TEL 0974-63-2338

- ◆加藤病院
 (心療内科・精神科・内科)
- ◆精神科デイ・ナイト・ケア
- ◆重度認知症デイ・ケア
- ◆介護老人保健施設 岡の苑

〒878-0026
 大分県竹田市竹田大字飛田川1618-2
 TEL 0974-63-0225

- ◆認知症対応型施設
 グループホーム和の郷

社会福祉法人 雄仁会

〒878-0026
 大分県竹田市竹田大字飛田川1618-23
 TEL 0974-63-3323

- ◆地域密着型特別養護老人ホーム
 こころの郷

ホームページ

<http://www.16.ocn.ne.jp/~yuujin/>

Facebook

<https://www.facebook.com/yujinkaigroupe>



おしらせ

平成25年度
 ゆうじん健康にここ講座予定
 毎月25日 13時30分～
 こころの郷にて開催

- 平成25年
- 4月 開講式
 高齢者が快適な生活を送るために
 - 5月 脳を活性化させる生活の工夫
 - 6月 夏場の食生活

申込先 0974-63-2338
 (加藤病院 地域医療連携部)

医療法人 雄仁会
 社会福祉法人

平成25年4月
 第3号

広報誌 ゆうじんかい

基本理念 安全 ● 信頼 ● 満足

TOPICS

平成25年雄仁会年賀式



1年の計は元旦にありといわれています。昨年は2月に社会福祉法人を設立し、「こころの郷」をオープンしました。また、11月には雄仁会の60周年記念誌を発行したところです。

平成25年度は精神疾患が4疾病に変わり5疾病5事業の医療計画が動き出しますが、雄仁会の今年の目標は認知症デイケアの充実と、認知症疾患医療センターの開設です。竹田市、豊後大野市への地域貢献をより強化させるために、定員50名の認知症デイケアを

建設しさらにその上階には46名を収容する有料老人ホームをつくり、新たなニーズに応えていきます。まもなく着工し10月末の完成を目指します。

豊肥地位の高齢化率は40%近く、認知症の早期発見早期治療により、いつまでも家族と一緒に生活ができる支援を行いたいと思います。

社会福祉法人 雄仁会 こころの郷 1周年

竹田市で初めての全室ユニット型個室の特別養護老人ホームとしてスタートした『こころの郷』。地域密着型施設として入所者、家族の皆さんに「満足してもらえる様なサービスができるだろうか?」「地域に溶け込んだ施設になれるだろうか?」そんな不安の中でスタートして早くも1年が過ぎました。「職員の皆さんには本当に良くしてもらって何も言うことはありません」と運営推進会議での入所代表者の言葉。「ここに入所して人が違ったように明るくなりました」と入所者の家族の言葉。

まだまだ行き届かない点が多いことは十分承知しながら、皆さんの言葉に励まされ、そして定期的に訪れてくれるボランティアの皆さんに感謝し、その助けを借りながらより一層入所者、家族の皆さんに満足してもらえるよう、そして地域の皆さんに愛される施設となるよう職員一丸となってサービスの向上に努めていきたいと思っています。



第3回

雄仁会合同学会



平成25年3月10日に『チームでステップアップ』をテーマに第3回 雄仁会合同学会を開催いたしました。今回で第3回目となり発表者も延べ約50名になります。この合同学会で経験を積み、多くの職員が各学会にて発表しています。



今年の合同学会は約150名の参加者があり、演題も各部署より計16題、今回のテーマである『チームワーク』の必要性を強く感じる内容でした。私たち雄仁会の職員は、更なるチームワークで今後も各施設の利用者さんが、より快適な生活が送れるよう努力してまいります。



栄養管理部からの活動報告

高度成長に伴って糖尿病の患者数がこの10年で700万人から気に900万人に増加しました。予備軍も含めると成人の5人に1人は糖尿病の疑いがあるといわれています。

そんな中、精神科デイケアに通って来られる方、共同住居に入居されている方、共に近年糖尿病に罹患される方が多く懸念材料でした。そこで、糖尿病患者さんに対するアプローチを実施することにしました。「糖尿病の集団栄養指導」「映画で見るヘルスケア」「減量チャレンジ宣言書」など数年に渡り実施できましたが、思っている以上に至難の業で、初期には何の自覚症状も無く、「糖尿病＝厳しい」食事制限との連鎖反応で軽快されることも考えられた為、必ず何か一つでも心に残るお土産を持って帰っていただけるよう、

- ①講義型ではなく出席者参加者で自由な発言の出来る場とする。
- ②長々と話すのではなくシンプルに分かりやすい内容。
- ③実行可能な取り組みやすいプログラムにする。
- ④モチベーションを上げる為、小さな改善でも大いに褒める。

事に心がけ実施内容については「嘘ホントクイズ」、映画を通し病気を知ってもらう「映画に見るヘルスケア」など様々なものを取り入れて1時間の内容で実施しています。ただ、食欲が異常に克進して肥満になる、「寛容と継続」ではないかとの思いを深くしています。言った事が出来ていないからと叱責したり、注意しでもあまり効果は無く、いけないと、分かっているのは当の御本人なので次回、少しでも良い方向に向かっていけるような芽を育てていければと願っています。

他スタッフの方々の全面的な御協力のもと、「寛容と継続」を胸に幸せな明日を目指していけるお手伝いが出来たらと思っています。



平成24年度 ゆうじん健康にこにこ講座閉講式



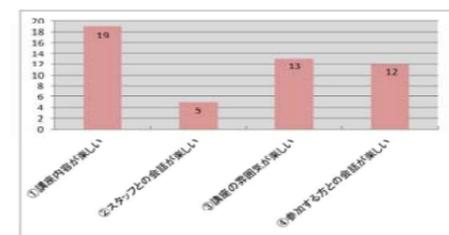
楽しく「ゆうじん健康にこにこ講座」を開催しています

地域の皆様と心の健康について共に学習していきましょと今年度から毎月25日に開催の講座ですが、3月25日に今年度の閉講式を開催しました。全日数をご出席いただいた方が10名、惜しくも1回だけ欠席された方が13名でした。皆勤賞、精勤賞をお渡ししましたが多くの皆様に楽しんでいただいていることを実感でき、とても喜んでます。

今年度をふり返ったアンケートでもとても楽しく参加していただいていることが伺えました。稲葉よろうち座の劇も入れさせていただきましたし、1月の講座では、若年性認知症でも前向きに頑張っておられる大分市の足立昭一・由美子ご夫妻のお話に元気を頂きました。

来年度も皆様のご要望を拝聴しながら内容を進めて参りますのでよろしくお願ひします。

参加して楽しいという回答
94%が楽しいと回答。(他6%は無回答)



1月講座で講師をしていただいた
足立昭一・由美子ご夫妻

精神科ワンポイントアドバイス

認知症の早期発見には次の様なものがあります

- もの忘れがひどい
例 ・同じことを何度も言う、問う、する
・しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
・財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
・今切ったばかりなのに電話の相手の名前を忘れる
- 判断・理解力が衰える
例 ・料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
・新しいことが覚えられない
・話のつじつまが合わない
・テレビ番組の内容が理解できなくなった

- 時間・場所がわからない
例 ・約束の日時や場所を間違えるようになった
・慣れた道でも迷うことがある
- 人柄が変わる
例 ・些細なことで怒りっぽくなった
・周りへの気遣いがなくなり頑固になった
・自分の失敗を人のせいにする
- 不安感が強い
例 ・一人になると怖がったり寂しがったりする
・外出時、持ち物を何度も確かめる
・「頭が変になった」と本人が訴える
- 意欲がなくなった
例 ・身だしなみを構わなくなった
・趣味や好きなものに興味を示さなくなった
・何をするのも億劫がり嫌がる

いかがでしょうか？
日常の暮らしの中でいくつか思い当たることがあれば、お気軽にご相談ください。